ワーナー ブラザース ディスカバリー(WBD)

【セクター】 メディア
【市場】 NASDAQ

信買

【企業概要】

米国の世界的なメディア企業。2022年4月8日にAT&Tのメディア事業から独立した映画・テレビ番組制作のワーナーブラザースとドキュメンタリー番組制作のディスカバリーが統合して誕生。映画制作の「ワーナーブラザース」、映画チャンネルの「HBO」、ドキュメンタリーチャンネルの「ディスカバリー」、ニュースチャンネルの「CNN」、スポーツチャンネルの「ユーロスポーツ」などを保有。ストリーミングサービスを提供するDTC（Direct To Consumer）部門の契約者数は2023年9月末時点で95.1百万人です。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

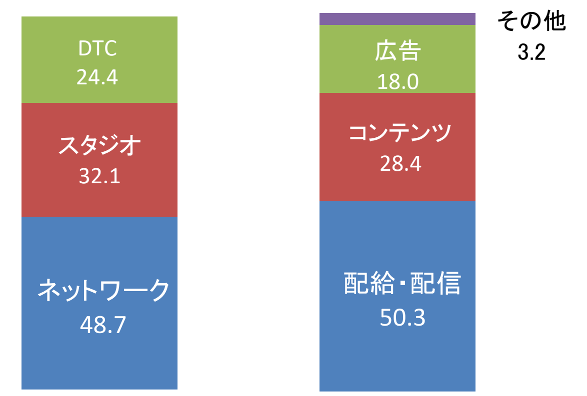
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
21.12期	12,191	884	1.70	0.00	22.9	7.1	38.9
22.12期	33,817	-3,573	-1.84	0.00	19.4	-25.3	36.3
23.12期（予）	41,676	-2,733	-1.13	0.00	18.5	-2.2	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

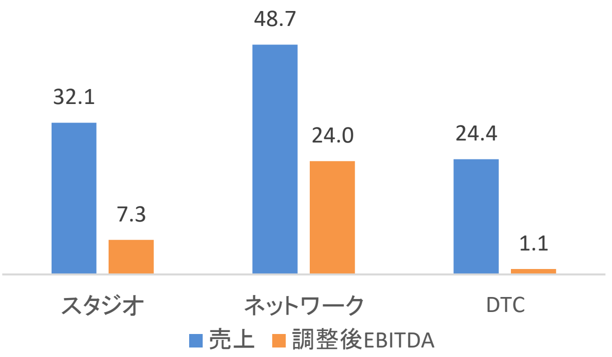
【主要指標】

部門別、収入別売上構成比（億ドル、2023年7-9月期）



注：部門別は本社部門除く、DTCはDirect To Cunsumer（顧客直結）
（出所）会社資料よりSBI証券作成

部門別売上・調整後EBITDA（億ドル、2023年7-9月期）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

【会社の見方】

フィクション中心のワーナーブラザースとノンフィクションに強いディスカバリーのコンテンツは補完的で、また、メディア業界でトップクラスのブランドのいくつかを保有していることから、良い組み合わせの経営統合と考えられます。ただし、合併に係る費用やリストラ費用などが嵩み、当面の利益は押し下げられます。市場の注目は、映画の「HBO Max」とドキュメンタリーの「Discovery+」を組み合わせて、ストリーミングサービスがいかに展開されるかに集まっています。サービスのブランドは単に「Max」とし、広告なし、ライト広告、広告のみの3つのプランを提供、2023年5月から米国で、その後、南米、欧州と、順次世界展開する計画です。

【見通し・注目点】

7-9月期決算は売上が99.8億ドルで前年同期比2%増で市場予想並み、調整後EBITDA（利払い、税金、償却前利益）は29.7億ドルで同22%増、市場予想を2%下回りました。スタジオ部門は映画「バービー」の大ヒットがあったものの、TVライセンスで前年同期比で反動減があって全体では前年同期比4%増、ネットワーク部門は広告収入の減少で同7%減、DTC部門は加入者数は同１%減少したものの平均収入が同6%伸びて同5%の増収でした。

（SBI証券 投資情報部 榮 聡）

（更新日 2023/11/13）

本レポートに関するご注意事項
・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したものですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等
・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります（信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD（くりっく株365）では差し入れた保証金・証拠金（元本）を上回る損失が生じるおそれがあります）。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。